

公益財団法人 リバーフロント研究所

I 法人の概要（令和7年4月1日現在）

- 1 所 在 地 東京都中央区新川一丁目17番24号
2 設 立 年 月 日 昭和62年9月1日
3 代 表 者 代表理事 塚原 浩一
4 基 本 財 産 542,300千円
5 北九州市の出捐金 10,000千円（出捐の割合 1.8%）
6 役 職 員 数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	0人	6人
常 勤	1人	0人	0人	1人
非常勤	5人	0人	0人	5人
職 員	33人	0人	0人	33人

II 令和6年度事業実績

公益財団法人リバーフロント研究所は、活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、学際的、先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下「研究等」という。）に積極的に取り組み、研究等の成果が今後の社会を支える施策、制度等の制定・改定に際し、技術的基盤として活用されていくことを目指して活動している。

令和6年度は、現在および将来に予測される課題への対応などに貢献することを念頭に、河川、海岸等の流域、水辺に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、流域が一体となって取り組む水害に対して強靭で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などに関する未解決の諸課題にチャレンジしつつ、以下の研究等を重点的に行なった。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく、活用に向けて幅広い活動を進めた。また、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、インターネットによる研究発表会、セミナー等による情報発信を継続している。

また、令和5年度に多自然川づくりサポートセンター、ARRN/JRRNの活動等の活動を統合し、リバーフロントサポートセンターとしてその活動の一層の展開を図っている。

1. 水辺の環境・生態系の基本的課題に関する研究等

河川、海岸等の水辺に係わる環境・生態系の基本的課題に関する研究等を行った。

2. 持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成に向けた研究等

気候変動、生物多様性等の地球規模の課題や、大規模災害、地域活性化等の地域ごとの課題に対処

し、持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成を目指した研究等を行った。

3. 意識共有、合意形成の円滑化に向けた研究等

河川、海岸等の水辺に係る現状や諸課題に関し、関係者が認識を共有し円滑な合意形成を図るための手法に関する研究等を行った。

4. 研究成果、技術の普及

新型コロナウイルスの対応が緩和されたことを受け、研究成果、技術普及においては、対面での発表会等と広く普及できるインターネット配信等の継続とのハイブリッドな手法の展開を行った。

5. 国際貢献の推進

イギリス・スイスにおける現地調査等を実施したほか、インターネットにより、わが国の水辺に関する技術に関して諸外国へ情報提供等を行うとともに、技術普及・情報収集に資するため、諸外国の技術状況を調査した。また、日台技術交流フォーラムにおいて両国の技術交流を行った。

III 令和6年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和7年3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金 預 金	5,209,883	45,370,389	△40,160,506
完 成 業 務 未 収 入 金	490,655,000	412,787,709	77,867,291
貯 藏 品	50,551	101,507	△50,956
未 収 金	47,436	59,472	△12,036
前 払 費 用	595,106	10,588,107	△9,993,001
流動資産合計	496,557,976	468,907,184	27,650,792
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投 資 有 債 証 券	300,000,000	300,000,000	0
定 期 預 金	242,300,000	242,300,000	0
基 本 財 产 合 計	542,300,000	542,300,000	0
(2) 特定資産			
研究開発積立資産	957,700,000	957,700,000	0
退職給付引当資産	76,311,200	76,311,200	0
特 定 資 產 合 計	1,034,011,200	1,034,011,200	0
(3) その他固定資産			
建 物	215,896	300,011	△84,115
什 器 備 品	4,423,497	3,134,051	1,289,446
リ 一 ス 資 産	0	0	0
電 話 加 入 権	145,600	145,600	0
敷 金	45,514,794	45,514,794	0
そ の 他 固 定 資 產 合 計	50,299,787	49,094,456	1,205,331
固 定 資 產 合 計	1,626,610,987	1,625,405,656	1,205,331
資 産 合 計	2,123,168,963	2,094,312,840	28,856,123
II 負債の部			
1 流動負債			
業 務 未 払 金	22,999,900	19,640,000	3,359,900
短 期 借 入 金	468,063,449	468,470,736	△407,287
短 期 リ 一 ス 債 務	0	0	0
未 払 金	2,791,658	8,485,001	△5,693,343
前 受 金	0	1,100,000	△1,100,000
預 金	2,955,741	23,783,459	△20,827,718
賞 与 引 当 金	19,012,000	18,459,000	553,000
未 払 消 費 税 等	13,800,400	11,473,900	2,326,500
流動負債合計	529,623,148	551,412,096	△21,788,948
2 固定負債			
長 期 リ 一 ス 債 務	0	0	0
退 職 給 付 引 当 金	86,943,500	76,311,200	10,632,300
固 定 負 債 合 計	86,943,500	76,311,200	10,632,300
負 債 合 計	616,566,648	627,723,296	△11,156,648
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,506,602,315	1,466,589,544	40,012,771
(うち基本財産への充当額)	(542,300,000)	(542,300,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(957,700,000)	(957,700,000)	(0)
正 味 財 产 合 計	1,506,602,315	1,466,589,544	40,012,771
負 債 及 び 正 味 財 产 合 計	2,123,168,963	2,094,312,840	28,856,123

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	6,090,464	6,004,856	85,608
② 研究開発積立資産運用益	16,974,915	16,507,165	467,750
③ 事業収益	650,239,000	537,434,709	112,804,291
④ 賞与引当金戻入額	18,459,000	17,967,000	492,000
⑤ 雜収益	286,943	192,752	94,191
経常収益計	692,050,322	578,106,482	113,943,840
(2) 経常費用			
① 事業費	507,087,505	439,470,167	67,617,338
研究開発・技術普及費	81,375,434	72,089,394	9,286,040
② 管理費	63,574,612	60,179,442	3,395,170
経常費用計	652,037,551	571,739,003	80,298,548
当期経常増減額	40,012,771	6,367,479	33,645,292
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	40,012,771	6,367,479	33,645,292
一般正味財産期首残高	1,466,589,544	1,460,222,065	6,367,479
一般正味財産期末残高	1,506,602,315	1,466,589,544	40,012,771
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,506,602,315	1,466,589,544	40,012,771

IV 令和7年度事業計画

公益財団法人リバーフロント研究所は、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下「研究等」という。）を積極的に行い、その成果を今後の施策、制度等の制定、改定に活用していくことを目指して活動している。

令和7年度は、近年および将来予測される課題に貢献することを念頭に、河川、海岸等の環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、水害に対して強靭で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などに関する未解決の諸課題の研究を開拓する。

研究等の成果を施策や制度等へ反映させることにより、我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上を目指すとともに、水や水辺に関する様々な団体等の活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決につながる幅広い活動を目指す。インターネット等のツールを最大限活用し、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行う。

V 令和7年度予算

1 収支予算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,005,400	6,000,000	5,400
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	16,995,000	16,500,000	495,000
③ 事業収益			
調査研究事業収益	540,000,000	512,000,000	28,000,000
④ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	18,977,000	17,690,000	1,287,000
⑤ 雑収益			
雑 収 益	200,000	200,000	0
経常収益計	582,177,400	552,390,000	29,787,400
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	407,986,078	384,657,151	23,328,927
研究開発・技術普及費	118,975,322	113,512,849	5,462,473
② 管理費			
管理費	55,216,000	54,220,000	996,000
経常費用計	582,177,400	552,390,000	29,787,400
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0

VI 役員名簿

令和7年5月29日現在

役職名	氏名
代表理事	塚原浩一
理事	菅和利
//	見城美枝子
//	佐藤伸朗
監事	小野賢二
//	美寺寿人